



第53号 Forward

編集責任者
沖縄尚学高校
PTA文化教養部
那覇市国場747
☎ 832-1767
FAX 834-2037
発行 (株)尚生堂
平成30年9月28日

暖かみ・厳しさ・知性

沖縄尚学高等学校PTA新聞 感謝と奉仕

E-mail query@okisho.ed.jp

HPURL http://www.okisho.ed.jp

本校の学校訓の理念を
日常生活の中で実践して欲しい。
そして、人間力をつくる教育の中で
進学実績を大幅に伸ばして欲しい。



名城 政次郎
学校法人 尚学学園理事長
沖縄尚学高等学校 校長

本校についての嬉しいニュースが二つあります。一つは進学実績で、もう一つは教育の内容です。今年の八月十一日発行の週刊東洋経済が、「ザ・名門高校」と銘打って、全国の高校の中から五百校を選んでいきます。これは、難関大学への合格実績を基準にして選んだものです。本校は、沖縄県内では二番目になっています。一番目が私立高校で、三番目は県立高校です。一、二番目の高校は全国ランキング二七七番、本校は三九〇番です。三番目の県立高校は四一七番です。二〇一六年一月一九日発行の週刊ダイヤモンドは、「全国一二八名門高校」を紹介していますが、本校は、その中の一つになっています。九州から一校、沖縄県内からは本校一校のみです。これは、教育内容で選ばれています。本校の二つの学校訓、「怖れず、悔らず、気負わず、やるべきことに取り組みます」、「温かみ、厳しさ、知性を身につけ、感謝と奉仕の心を実践します」。この二つの理念を、本校の職員も生徒も、日常生活の中で周りの人に感じさせるようになって欲しいと願っています。本校は、理想的な教育を目指して、勉学、沖縄伝統空手、英検、異文化体験、ボランティア活動などを実践しています。生徒も職員も、嬉々としていろいろな活動に従事しています。たくましい進学校を目指してなお一層、評価を高めるために頑張っています。

活躍するOB 「尚学院がこれまでにない 新しい進学校を創るので受験してみないか」



本校一期卒
山城 吉道

高校受験を目前に控えた中学3年生の私にかけられたこの言葉が、現在の沖縄尚学の門を叩ききつかけでした。「不安はなかったですか」という質問が聞こえてきそうですが、名城政次郎校長先生が学院長として県下教育界に確固たる信認を得ていた「尚学院」が作る高校とすることでしたので、不安はなく、むしろ、使命感にも似た気持ちを持って「ワクワク」したことを鮮明に覚えています。余談ですが、当初、校名も「沖縄尚学院高等学校」との予定でしたが、「院」と「学校」に意味の重複感があるといったことで現在の校名となった経緯があります。

そんな「ワクワク」感を持って入学した本校は、期待を裏切らない素晴らしい学び舎でした。入学して出会ったのは、実にユニークで「人間味溢れる刺激的な仲間」。県下から、県外の名門進学校を蹴つて来た者も含め、それぞれの地域の一角の面々が集い、その仲間と文武両面で切磋琢磨した3年間でした。今思えば、皆同じ様に自らがこの新しい学校を築くとの「ワクワク」感を持ち合わせていたのではないかと思います。そして、これら生徒を迎えて頂いたのが、名城政次郎校長先生をはじめとする「尊敬する多士済々の先生方」です。当時はより良い教育環境を求めて県外の進学校に人材が流れてしまう状況がありました。先生方からはこの学び舎に一流の教育環境ありとの気概溢れる教えを頂きました。私自身、圧倒的な「知」と「人間力」を前に、自らの「無知」を知り、学ぶというこの意味から教えて頂き、人としてより良く生きていく礎を得ることができました。当時と現在では設備もカリキュラムも異なりますが、「リベラルな教養」と「チャレンジ精神(フロンティアスピリット)」溢れる「人間力」の涵養は、設立当初から貫いた本校の教育指針であり、校風であると考えます。実際に、本校の設立後、県内に多くの進学校が設立されて教育環境は大きく改善。その後も、本校は、沖縄伝統空手道の必修化、異文化プログラムや国際バカロレアプログラムの導入など、新たな取り組みを続け、教育界のリーディング・スクールとして発展を遂げています。その中で、生徒は、周知のとおり文武両面で多くの実績をあげ、卒業後も、本校同窓会の尚友会や仕事上で会った数多くの卒業生は、皆それぞれの立場で新たなチャレンジを成し遂げ、本校で培った「人間力」を遺憾なく発揮し、各界で活躍されています。

本校の教育・校風は、現在の高大連携の教育改革と軌を二つにするものであり、社会の要請と考えます。卒業生として、この学舎で多くのことを学んだ後輩の皆さんと会えることを楽しみにしています。

山城 吉道 日本銀行政策委員会企画役

沖縄県浦添市出身。学習院大学経済学部卒業。大学では、ミクロ経済学等の応用分野である「産業組織論」を南部鶴彦名誉教授に師事。電気・通信産業や銀行業等の各業界規制・競争政策をテーマに公的規制や競争のあり方を研究し、専門分野として修習。卒業後、日本銀行に入行。金融経済調査、証券市場・決済制度整備や組織運営等に従事。趣味は、歴史小説を中心とする読書のほか、中学時代には陸上・駅伝、高校時代はバスケットボール部に所属しており、それらを含めたスポーツ全般。

二十一世紀型の大学進学 グローバル社会と生涯学習社会を見据えて



副理事長・高校副校長
中学校長
名城 政一郎
博士(教育)

沖縄尚学では「強くてやさしい文武両道のグローバル教養人」を目指す教育を実践しており、これが他の進学校にはない「強み」になっています。なぜ沖尚はこのようなグローバル進学校になったのか？これまできちんと書いたことがないと思うので、以下にまとめてみました。

一九九〇年代のバブル崩壊以来、教育が「当たり前」とすべき社会の前提が大きく変化し、大学進学の意味を改めて問い直さねばならなくなりました。かつては、進学校にとって、とてもシンプルな世界でした。難易度の高い「国内」大学への進学実績を上げるだけで一流の進学校になったからです。この二十世紀型パラダイムの世界では、保護者も社会も、そして教育者ですら、真剣に考えるのは「大学に入るまでの教育」でした。しかも当然「国内」の大学しか視野にありませんでした。

ところが一九九〇年代初頭のバブル経済の崩壊をきっかけに、少子高齢化、人口減少、グローバル化、IT/AIの進化などの影響が顕在化し、二〇世紀の「当たり前」が根底から覆されました。このような時代を生きる子供たちの将来は、日本国内で日本人だけと付き合ひ、教育は大学に入るまで」などといった、これまで我々大人が前提としてきた「当たり前」で生活と人生が完結する世界ではなくなっていました。

このような社会を前提とすると、日本はもちろん、世界のどこでどんな職業に就いても通用する資質を念頭に置いた大学進学そして単に「大学に合格すること」ではなく、生涯学習力の養成を目的とした大学進学を考えることが必須になります。しかし、日本の場合、難関大学ほど学力偏重の入試を実施しており、入試のための勉強だけだと気づかないうちに「学力偏重」に陥ってしまいます。ですから、進学校ではなおさら「知・徳・体」のバランスの取れた力を身に着ける仕組みが必要になります。

習得目標型授業、空手、英検、ボランティア、異文化交流、課外活動、グローバル・シティズンシップ特別講座、海外協定大学へのTOEFL免除の推薦入学制度、国際バカロレアなどはすべて、グローバルに通用し、生涯学習を可能にする学力と人間力の養成を目的に導入した教育活動です。国内、海外のどちらの大学に進学しても、これらの体験を生かし、大学進学後も自己実現力と社会貢献力を発揮する「グローバル教養人」への道をしつかりと歩み続けてくれるものと期待しています。

親の役割



PTA会長
樋口 泰子

今春、四人兄弟の三男が大学生となり親元を離れた。嬉しさ寂しさと同時に、ある別の思いがよぎりました。「ひとり立ちする息子達に対して、親として人として必要なことを十分に伝えることが出来たのだろうか？」という後悔と不安が混在した感情が、心の中をよぎりました。

科学の進歩により人生は八十年以上まで延びましたが、私が息子達と寄り添っていたのは、たった十八年余りだったのです。その時間の差に気づいた時の偽らざる気持ちです。なんと貴重な時間だったのだろうか。この世に生を受け、丈夫な肉体と人格を形成すべき大切な十八年間にどれだけ、遊び・笑い・叱り・語り・夢を聞くことができたのだろうか。そして、ひとり立ちする為の準備をさせることが出来たのだろうか。もちろん、これからも出会う人々や自分自身の心がけで知・徳体の全てを磨き続けることは可能だと思います。そのベースを親子共々で創ってきたのだと思います。親子の縁は無限です。これからも彼等の手本でありたい、背中を見せられる大人でありたいと願うばかりです。みなさんに残りの高校生活の中で子どもとたくさん笑って、ケンカして、語って素敵な時間を過ごしてください。そして笑顔で背中を押して送り出したいですね。

今年もすでにクラス役員、三役を中心にPTA活動が始まっています。素敵な高校生活の為に保護者と先生が協力し合い、より良い活動を心掛けていきたいと思っています。

最後になりましたが、本年度も会長を務めることが出来るのもみなさんのおかげです(感謝)。今年もたくさんさんの保護者の方々と笑顔あふれるPTA活動をしていきたいと思っておりますのでよろしく願い致します。



新任教員



一の四副担任（理科）
宮国 勝栄

良い授業を目指して

初めまして。今年度の春から新任職員として勤めています。宮国勝栄と申します。

私は高校の物理教員として現在、三学年に物理を教えています。一学期間を終える現在になって、ようやく仕事も落ち着いてきました。が、これまで本当に目が回るような忙しさでした。特に初めの四月、五月は右も左もわからず、授業に対する生徒の反応も微妙な感じでした。自分では分かりやすくしているつもりでも、実際生徒に対して授業をしてみるとまだまだ教え方が不十分であると毎回思い知らされます。四、六月は本当に十分な点が多く、授業が終わってはその箇所の埋め合わせとなるプリント作成に追われていました。

授業の改善を重ねるにつれ、ようやく理解してくれる生徒も増えてきて、近頃は授業も授業としての形を保ってきたように思います。不安なときにはよく周囲の先生方にも相談させていただき、お蔭で一学期間リラックスして仕事に向かうことができました。いつも助けて下さる先生方に改めてお礼を申し上げたいと思います。また、どんな改善を重ね、より良い授業を作っていきますので、皆様これからもどうぞ宜しくお願い致します。

事務係



広報室
陳麗欽

職員の一員として頑張ります

冲尚と深くご縁があつて、今年度四月から新任職員として、ロビー一階にある異文化交流プログラム担当に配属され、勤めることになりました。新学期が始まってから、もうそろそろ四ヶ月経ちますが冲尚の印象は前も今も変わっておりません。学生の頃から、私の中の冲尚のイメージは「文武両道の学校」、「暖かみ・厳しさ・知性」が備わり教養人を育む教育の場でした。そういう理想的な教育環境のもと、本校の教職員の一人として教育方針と教育理念を肌で実感している今日この頃です。本校の使命は、職員の皆が理念・目標を共有し、安心・信頼できる教育共同体を創ろうとしていることです。それを達成する為に、私も異文化交流プログラム担当の一員として、グローバル教養人の育成及び生徒の異文化対応力を向上させるべく頑張っていく所存です。



広報室
浅井 香織

生徒の視野が広がるよう…

昨年六月より異文化交流プログラム担当で皆さんと一緒に働くことになりました。浅井香織と申し

ます。既に着任して約一年になりますが、この一年を通して業務の流れを経験し、ようやく慣れてきたところですが、本校の掲げる「強くて優しい文武両道のグローバル教養人」を目指し、より多くの生徒へ校内外の海外派遣や受け入れプログラムを発信し、様々な異文化に触れることにより視野を広げて、成長できるような機会を提供していきたいと思っています。



事務局
鈴木 わかな

喜びと感謝と襟を正して

昨年より事務局にて勤めさせて頂き、学校訓「暖かみ・厳しさ・知性」「怖れず・侮らず・気負わず」を胸に日々の業務に取り組んでおります。冲尚の生徒たちは勉学に一生懸命取り組んでいることは勿論、廊下ですれ違う際もきちんと相手の目を見て挨拶をするなど、様々な場面で学校の理念である「人間力」も感じさせられることが多く、私自身も母校である冲尚に勤めることができた喜びと感謝と同時に襟を正さなければという思いで一杯です。今後とも、生徒・先生方とともに冲尚の一員として皆様のお役に立てよう努力する所存ですので、よろしく願い致します！

外進生の冲尚入學感想



自主性が出てきた冲尚生活
竹内 涼花（二の六）

私はこの春から晴れて冲縄尚学に入学することができました。入学したばかりの頃は勉強についていけないかなどたくさんの不安と緊張でいっぱいでした。しかし、今ではクラスメートなどの支えもあり、充実した学校生活を送っています。私は内進生と外進生の混合クラスに所属していますが、みんな仲が良く、また冲尚で必須としている空手や英検にも日々一生懸命取り組んでいます。空手の授業では大きな声を出すので自然と人前出る勇氣が身に付いてきました。そして、冲縄尚学では異文化交流やボランティア活動が盛んに行われており、勉学面だけではなく、貴重な体験もすることが出来ます。冲縄尚学の生徒と一緒に学校生活を過ごしていると自分も自主的に行動できるようになりました。これも冲縄尚学の素晴らしいところだと思います。また、個性的な先生方が多く、毎日の授業に楽しく参加することが出来ます。素晴らしい先輩方を見習い、「怖れず、侮らず、気負わず」の学校訓を身に付け、立派な冲尚生となれるようこれからも様々なことに挑戦し、有意義な学校生活を過ごしていきたいと思っています。



平成 30 年度九州ジュニア体重別柔道選手権大会（熊本県）

「毎日練習、自主練も積極的に」 81kg 級優勝



3の12体育コース
仲嵩 爽由

先日、福岡武道館で九州ジュニア体重別選手権が行われました。私は初めての九州ジュニアで緊張しましたが、どうにか優勝することができました。優勝することができたのは、顧問の新垣琢也先生のご指導や、先輩方や仲間の支えがあったからこそです。私は、前大会の九州大会で3位という結果でした。準決勝で、最初にポイントを取られそのまま時間切れで負けてしまいました。相手との力の差はあまり感じなかったが結果としては、負けてしまいました。とても悔しい思いをしました。私は、毎日練習を頑張っているし、自主練も積極的にしています。それなのになぜ勝てなかったのか、県外の選手にどうやったら勝てるのかを私なりに考えました。私に足りていなかったのは、県外の相手を想定して練習することだったと思います。沖縄は、県外の高校生と違って他県で練習をしたくてもそう簡単に練習できる環境ではありません。だから、いままで結果が残せなかったのだと思います。必死に練習することは当たり前のことで、他の高校の生徒もやっています。日々の練習を意味のあるものにするために課題を課しながら九州ジュニアまでの間練習



を続けてきました。すると、結果がついてきました。練習したことが試合で出来て、前の試合より勝てる気がしました。決勝戦は、私のかけた技を返されポイントを取られて負けていました。しかし、その後もう一度技をかけポイントを取り返し、そのまま抑え込んで一本勝ちでした。抑えている間の時間がとても長く感じ、優勝したという実感はあまりありませんでしたが、とても嬉しかったです。私は、この大会を優勝したので、全日本ジュニアに出場できます。全日本ジュニアに向けて日々の練習を怠らず優勝を目指し頑張っていこうと思います。

平成 30 年度沖縄県高等学校総合体育大会

「強さと優しさを兼ね備えた人間」 女子個人組手 2連覇



剛柔流初段2の8
嘉数 萌乃

「お前は空手部に入りなさい。」

沖尚中学に入学して間もない頃、父親にそう言われ、嫌々ながらも半ば強引に沖尚の沖縄伝統空手部に入部させられたのが空手に出会ったキッカケです。今となっては、そんな父に本当にありがたい気持ちでいっぱいなくらい、空手が大好きになりました。それからというもの、毎日稽古に励み練習を積み重ねてきました。

中学の頃は大会で一度も入賞できず悔しく苦しい日々が続きましたが、顧問である国吉真太郎先生、仲間、そして家族に支えられ、諦めることなく自分を信じて頑張ることができました。

今回、県高校総体の個人組手の部で二連覇できたのは、努力がやっと実を結んだのであり、支えてくれた多くの人たちへの感謝を少しでも返返しできたのかなと嬉しい気持ちでいっぱいです。

私が空手を続けてきて学んだ一番大きなものは「感謝の心」です。自分一人の力では途中で挫折して続けてこれなかったと思います。今、好きな空手を自由に思う存分できるのは身近な人たちを始め、本当にたくさんの方々のおかげなのだと実感するようになりました。

父がなぜ私を空手部に入部させたのか、少し分かってきたような気がします。武道を追求している身として、人への優しさ、強さとたくましさ兼ね備えた人間になれるよう、頑張れということだと思います。これからも周りの方々への感謝を忘れず、仲間と共に切磋琢磨して励んでいきたいと思っています。





部長 富田 浩嗣 副部長 安座間 智美

総務部



部長 比嘉 良安 副部長 石垣 靖子

文教養部



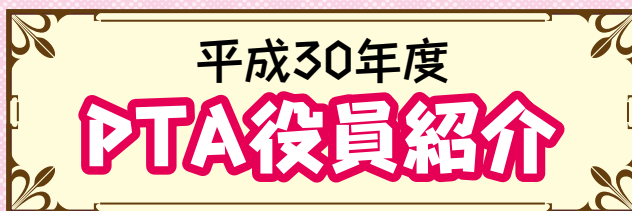
部長 大田 守秀 副部長 上原 晃

体育保健部



部長 伊佐 千代美 副部長 宮崎 和子

生徒指導部



会長 樋口 泰子
副会長 新城 孝幸
幹事 島粒 希 多良間 勝志 岩田 美和
金城 英和(教頭) 名幸 万里子 牧田 直子



部長 玉城 勝司 副部長 上村 康予

施設部



第六十八回 全国PTA連合会大会
佐賀大会に参加して
副会長 牧田 直子

八月猛暑が続く中、全国高等学校PTA佐賀大会に参加しました。
「広めよう、高めよう、慈しむ心」君たちがつくる希望の明日を、をテーマに分科会、講演会が行われました。
「慈しむ心」とは、思いやり、やさしさのこと。
中でも衝撃的な基調講演は「レモンさん(山本シュウさん)」「レモンの被り物をした、自称「男の顔をした近所のおせつかいおばちゃん」でされた。自らもレモン姿でPTA会長をされていたそうです。(検索しては・・・)」
今後のPTA活動、子育てや教育の改革など爆笑ありの講演でした。あらゆる分野で人類はめざましい進歩を成し遂げている今日、そこに慈しむ心があれば、更なる想像力が発揮できる。混沌の時代を生き抜く子ども達、学校、家庭、地域、社会において、慈しむ心を忘れず、希望の明日をつくる一歩を踏み出せるよう、私達大人が支えとなり、見守っていききたいと思いました。



那覇地区高校PTA連合会
功労者被表彰受賞

表彰
永岡さくらさん、おめでとうございます



第六十二回 九州地区高等学校PTA連合会大会
九州大会に参加して
楠 弥生(文化教養部)

去る六月十四日、宜野湾市で第六十二回九州地区高等学校PTA連合会大会が開かれました。青少年の健全な育成に、PTAとしてどう関わってゆかかを、九州各県の代表が様々なテーマを持ち寄り討論が行われました。台風の影響も心配されましたが、それぞれの会場では大変有意義な時間を持つことが出来ました。



仲間と共に 異文化研修



高2学年主任
下里 健二

高2研修旅行は、出発日が6月10日から6月12日に分かれて6コースで実施しました。

- ①カナダコースはブリティッシュ・コロンビア大学の見学やグラウスマウンテン、リーン溪谷などの自然を満喫し、ホームステイにより異文化を肌で体験しました。
- ②フィンランドコースは、首都ヘルシンキのロシア統治時代の教会や世界でも珍しい花崗岩の壁に囲まれた教会などを見学し、サンタクロース村のある北極圏ロバニエミでは白夜の中を森林散歩するなど日本ではできないことをいくつも体験しました。
- ③オーストラリアコースは、ブリスベン博物館や南半球最高峰のスカイポイント展望台を見学、教育協定校のロビナ高校との交流、スプリングブルック国立公園で大自然を満喫し、実りある研修旅行となりました。
- ④シンガポールコースは、マーライオン公園やラッフルズ卿上陸地(シンガポール発祥の地)見学、シンガポール大学の学生と国内自主研修にて交流、マレーシアでのホームビジットを体験しました。
- ⑤台湾コースは、「新民高級中学」との交流会、動乱に倒れた若き英霊たちを祀る「忠烈祠」や千と千尋のモデルとされる「九份」、そして中華民族の至宝「故宮台北博物館」を見学し身近な台湾の実体験をしました。
- ⑥九州コースは、吉野ヶ里遺跡、日田豆田町等見学の他、立命館アジア太平洋大学(APU)で世界各地からの国際学生との交流を通じた異文化体験をし、それをまとめ、英語でプレゼンテーションを行う研修を受けました。

このように、どのコースも充実した時間を仲間と共有し、生徒達の素晴らしい行動により一生の良い体験と思い出を作ることができました。



①カナダコース (州議事堂前)



②フィンランドコース
(ウイスペンスキー寺院前)



③オーストラリアコース (ムービーワールド前)



④シンガポールコース (マーライオン公園前)



⑤台湾コース (新民高級学校)



⑥九州コース (APU タワー前)

H30グローバルリーダー育成短期研修事業アメリカ高等教育体験研修



108

福里 未羽

私は、海外のことについて友人から話を聞いたり TV 番組で見たりしているうちに、海外や留学に興味を持ち、日本ではできない体験をしたいと思い、このプログラムにチャレンジしました。

プログラムの中で一番印象に残っていることは、Tonga's Class という授業で、みんながゲームを通して、リーダーになるための要素を育成するもので、お互いを信じ合うことや、しっかりと話し合っ工夫すること、周りを把握することなどの力が求められます。

楽しくゲームをしながら、生きていく上でどのようなことが大切で、何を優先していくのかなど、様々なことを考えさせられる授業でした。

私はこのプログラムに参加した後、異文化についてもっと知りたいと思うようになりました。実体験を通して、語学や文化の違いを学べるだけではなく、様々な考え方や価値観も触れることができます。異文化での体験は、楽しいことだけではなく、辛い時もあると思いますが、価値があることなので、ぜひ挑戦してみてください。



優勝は皆の協力のおかげ

今回、第二十回全沖縄高等学校スキットコンテストで優勝しました、一年九組の大城カレン、鈴木まりん、ウツド雪です。このコンテストに参加したきっかけは、先生に勧められたからです。初めは軽い気持ちで参加しようと思ったのですが、練習を重ねていくうちに優勝したいという気持ちが強くなってきました。放課後、学校に残り、ブースクリ先生とベン先生と沢山練習し、夜遅くまで演技指導をしてくれました。練習ではたくさんさんの厳しいお言葉をいただきました。担任の尚美先生、そしてク

ラスメイトのみんな、家族に何度助けられたことでしょうか。その結果、審査員を惹きつけられるようなお芝居ができたのだと思います。今は感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に、これからも新しいことにたくさんチャレンジしていきたいと思っています。私たちが優勝できたのは、もちろん自分たちが努力したということもありますが、周りの方々の支えがあったからこそだと実感しております。特にクラスメイトからの激励の言葉が、優勝に導いてくれたのだと思います。私たちを支えてくれた



方々、そして、お祝いの言葉をかけてくれた皆さん、本当にありがとうございました！

三役・生徒会の情報交換会

沖尚史上初、親子でPTA会長、生徒会長になった樋口さん。親子で学校のために尽力して下さる姿はとても頼もしいです。今回、新生徒会の皆さんと情報交換会を開きました。生徒会からは登下校のことや、暑さ対策、防災など、多岐にわたった要望が出ました。三役からはオープンキャンパスの売り上げの用途について生徒会に考えて欲しいと要望を出しました。より良い学校生活になるように生徒会と連携をとって活動していきたいと思っています。



ATSUSHI&TAKAHIROと共に

石垣 靖子（文化教養部）



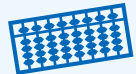
沖縄尚学中高合唱部は、平成30年7月14日TBS主催「2018音楽の日」アノ日の歌 特別企画で、EXILEボーカルのATSUSHI&TAKAHIROと6元生中継の中、総勢400人で卒業ソングの定番「道」を大合唱しました。

平成30年度 表彰者一覧 4月～9月

文化活動

- 第42回沖縄県高等学校文化連盟囲碁将棋夏季大会囲碁の部
男子団体 **2位** 嘉陽 一輝 (2の6) 狩俣龍之介 (2の6)
宜保 諒也 (2の6)
- 第42回沖縄県高文連盟将棋夏季大会
団体戦 **2位** 長野 航 (3の9) 金城 智紀 (1の7)
照喜名龍哉 (3の1)
- 第58回沖縄県合唱コンクール 合唱部
金賞 九州大会派遣
- 第20回全沖縄高等学校英語スキットコンテスト
最優秀賞 (**1位**) 大城 カレン (1の9) 鈴木 まりん (1の9)
ウッド 雪 (1の9) (補助員)
- 第24回琉球民謡伝統協会民謡芸能祭
グループ部門 **1位** 新崎 世梨奈 (3の12)
- 第53回全沖縄珠算選手権大会
個人総合競技 高校生以上の部
優勝 知念優里奈 (3の7) **第2位** 幸地えりな (2の6)

- 第2位** 大久保果林 (3の7) **第3位** 嘉陽 祈 (1の1)
第3位 前田 颯二 (1の5)
- 読上算競技 高校生以上の部
第2位 前田 颯二 (1の5) **第2位** 幸地えりな (2の6)
第2位 知念優里奈 (3の7) **第2位** 大久保果林 (3の7)
- 読上暗算競技 高校生以上の部
第2位 幸地えりな (2の6) **第2位** 知念優里奈 (3の7)
フラッシュ暗算競技 高校生以上の部
第2位 前田 颯二 (1の5) **第2位** 幸地えりな (2の6)
第2位 知念優里奈 (3の7)
- 団体総合競技 高校生以上の部 **優勝**
沖縄県教育委員会教育長賞 高校生以上の部
知念優里奈 (3の7) 大久保果林 (3の7)
- 世界城市杯三算全能競技会
金賞 幸地えりな (2の6) **銀賞** 大久保果林 (3の7)
- 平成30年度全日本珠算選手権大会
都道府県対抗競技 **日本一** 知念優里奈 (3の7)



スポーツ活動

- 平成30年度沖縄県高等学校空手道夏季大会
女子個人組手 **準優勝** 嘉数 萌乃 (2の6)
女子個人組手 **第3位** 林 愛由菜 (2の8)
- 第69回 沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会
女子B(中3/高1) 100m **第3位** 1269 名渡山サティバ輝 (1の5)
男子B(中3/高1) 100m **第1位** 1126 手登根永心 (1の4)
男子B(中3/高1) 走幅跳び **第1位** 6m91 手登根永心 (1の4)
- 平成30年度 沖縄県高等学校総合体育大会柔道競技
女子団体 **優勝**
女子48kg級 **優勝** 宮城杏優菜 (2の10)
女子52kg級 **優勝** 吉田 涼 (2の10)
女子57kg級 **優勝** 宮里 心菜 (1の10)
女子57kg級 **準優勝** 山添 桃花 (2の10)
女子63kg級 **優勝** 新崎 愛 (1の10)
女子78kg超級 **優勝** 外間 蘭 (2の10)
- 第63回沖縄県高等学校陸上競技対校選手権兼南九州地区予選大会
女子100 **第5位** 1290 (南九州大会派遣) 名渡山サティバ輝 (1の5)
男子走幅跳 **第2位** 7m05cm (南九州大会派遣) 手登根永心 (1の4)

- 男子三段跳 **第1位** 14m33cm (南九州大会派遣) 手登根永心 (1の4)
女子走幅跳 **第3位** 5m31cm (南九州大会派遣) 仲宗根実玖 (2の4)
男子走高跳 **第5位** 1m83cm (南九州大会派遣) 山森 翔琉 (2の8)
女子4×100リレー **第5位** 50.74 (南九州大会派遣) 金城 花穂 (3の6) 本部 真彩 (3の2)
仲宗根実玖 (2の4) 名渡山サティバ輝 (1の5)
- 平成30年度沖縄県高等学校総合体育大会 新体操ボール
第3位 堀切 サラ (1の3)
- 平成30年度沖縄県高等学校総合体育大会空手道競技
男子個人形 **第3位** 玉城 優弥 (3の9)
男子個人組手 **第3位** 垣花 聖武 (1の6)
男子団体組手 **準優勝**
男子総合 **第3位**
女子個人組手 **優勝** 嘉数 萌乃 (2の6)
女子団体組手 **準優勝**
女子総合 **準優勝**
- 第26回全琉空手古武道選手権大会型の部
高校生男子 **準優勝** 比嘉 良観 (2の9)



平成30生徒会役員



上段、左から

執行部 2年5組 阿部 泰知
執行部 1年3組 仲程 天馬
執行部 2年4組 松島 玄武
執行部 1年8組 中空 透吾
執行部 1年8組 齋藤 礼士
執行部 1年8組 識名 盛敏
執行部 1年9組 上江洲侑南
執行部 1年3組 湖城 美佑

下段、左から

会計 1年8組 嶋田 圭吾
副会長 2年6組 松本 航平
会長 2年8組 樋口 瑠洗
副会長 1年3組 喜友名孝範
書記 2年4組 宮里 夏央
執行部 1年4組 平良 侑莉

この度生徒会長に当選させていただきました樋口瑠洗です。今期生徒会は前メンバーが一人も居らず、男子十名、女子四名の総勢十四名です。未経験者ばかりですが非常に素晴らしいメンバーに恵まれたと思います。全員で先輩方から受け継いだものや顧問の百次先生、副顧問の宮国先生の指導の元、冲尚をより良い学び舎にするため皆で意見を出し合い深めながら、生徒の声を重視して様々な活動に誠心誠意努めて参ります。そのため、後輩や先輩という壁を越えて皆が意見を出しやすい生徒会にしていきたいと思っております。

毎年恒例の学校行事はもちろんのこと、新しいことにも挑戦していきたいと思っておりますが、何分、分からないことが多く足踏みする時もあるかと思われまます。その時は全員で力を合わせて邁進して参りますので、何卒宜しくお願い致します。

全員で力を合わせて邁進
生徒会長 樋口瑠洗